

こんにちは！戸田の会です。

—戸田市議会会派「戸田の会」政策レポート第3号—



左から、戸田市議会議員

酒井郁郎 (40歳)

金野桃子 (32歳)

中山祐介 (29歳)

真木大輔 (33歳)

私たち「戸田の会」は、志を同じくする戸田市議会議員4名による会派です。前回の選挙後、戸田市のために働きたい思いで「戸田の会」を結成してから3年がたちました。若輩者の小さな会派ですが、何とか市民の声を反映させよう、私たちなりの筋を通そうと、ある時は一丸となり、ある時は4者4様の専門分野において活動してきました。このレポートは、これまで取り組んできたこと、今後の課題と感じていることをお知らせするためお届けします。皆さんの活発な議論を起し、私たちへのご意見を頂くきっかけとなれば、これほど嬉しいことはありません。

戸田の会活動報告 2015

市政報告会 ▶ 総括質問 ▶ 県予算勉強会 ▶ 投票率アップ ▶ 予算要望



2014年8月

会派の活動をご報告した後、参加者との意見交換会を実施しました。



2015年3月

3月議会において神保市長が示された市政方針に対し、戸田の会で質しました。



7月

県の新年度予算のうち、戸田市に関連のある施策についてヒアリングしました。



8月

県知事選においても投票率アップキャンペーンを実施しました。



10月

平成28年度に向けた戸田の会の重点政策を神保市長に要望しました。

第2回 市政報告会開催のお知らせ

戸田の会では、みなさんに活動をお伝えし、直接ご意見をいただく「市政報告会」を毎年開催しています。前半で会派紹介や活動報告をしたあとに、後半は質疑応答・意見交換を行います。今年はみなさんとより充実した意見交換をできるよう、テーマを決めてディスカッションを行います。みなさんのご参加をお待ちしております！



◆日程 2015年11月8日(日) 14時00分～15時30分

◆場所 あいパル(戸田市上戸田地域交流センター) 研修室

(JR埼京線 戸田公園駅 徒歩8分) ※参加無料です。どなたでもご自由にご参加いただけます。

お申込み・お問い合わせ

下記の方法よりお申込みください。準備の都合上、事前にご連絡をいただければ幸いです。

①メール: info@todanokai.com ②電話/FAX: 048(234)8435(真木)

③郵便: 戸田市喜沢2-19-10-202(中山) ④facebookイベントページ「戸田の会第2回市政報告会」

みなさんのご意見を市政へ届ける!

会派ホームページ等でご意見を募集。
ご意見の進捗はホームページで公表!

戸田の会では、みなさんからいただいたご意見を必ず会派会議で検討し、会派メンバーが分担して対応しています。その進捗は、会派ホームページ内でリアルタイムに公表しています。



<http://todanokai.com/>

戸田の会

検索

※詳しくはホームページをご覧ください。

駅前自転車駐車場の利用料金が値上げされると不法駐輪が増えると懸念する。対策強化を。

図書館の貸出カードに1年間の有効期限が付いたが、その期日を貸出カードに表記して欲しい。

「チャリ検」という全国的な自転車講習を戸田市でも実施したいが、どうすればよいか。

お寄せいただいた、みなさんからのご意見

公園に、子供用遊具だけでなく高齢者用運動器具を設置して欲しい。

近くの公園の治安が悪化している。遊具の配置が悪く死角ができており、そこがスポットとなっている。対応をお願いしたい。

北戸田駅東口に喫煙所がないためポイ捨てが多いのではないかと。喫煙場所を整備すべきでは。

会派会議で話し合い



議会で要望・提案



改善へ!!

お寄せいただいた【ご意見】と【改善】例

公立保育園の「使用済みおむつ」衛生面が改善へ!



排泄後の使用済み紙おむつ、
現行は保護者が持ち帰る規定

対応



国のガイドラインから外れている
ことを指摘し、是正を要望し続ける

改善



平成28年度より、制度を改正し、
各園が廃棄することに

その他の改善実績

- 学童、保育所の給食等添加物を削減
- 学校給食の放射能検査(原発事故直後)
- がん検査の改善(胃内視鏡検査の導入等)
- 選挙公報を全戸配布に
- 交通量の多い信号を視覚障害者用に

24時間在宅介護サービス実現へ!



「在宅介護の負担が大きい」という家族の声

対応



24時間定期巡回・随時対応の訪問介護看護サービスを提案

改善

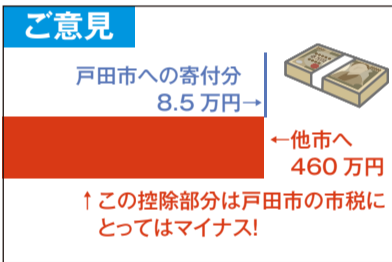


県補助金獲得(1597万円)を実現し、
平成27年度中に利用開始

その他の改善実績

- 駅前喫煙制限区域指定・巡回員配置
- ひとり親寡婦控除みなし適用実施
- 閉鎖中の新こどもの国学童を開放
- 子ども子育て会議に託児サービス
- 監査報告等の公開

ふるさと納税がもっと魅力的に!



魅力がなく納税額も約8万5千円一方、他市へ控除額は460万円!

対応



より魅力的にするため寄付の用途を寄付者に選択させる方法を提案

改善



使いみちを選べる唯一の税金という、
本旨に沿った寄付が実現

その他の改善実績

- 違反建築物の通報後の対応強化
- 浄化槽法定検査の受検率向上
- 土地区画整理での地籍調査の認証
- 耐震改修補助の倫理規定の追加
- 河川構造物の改造の指導と周知

市庁舎の情報セキュリティ徹底!



夜間口から市庁舎へ簡単に入室してしまう

対応



他市では書類の盗難が起きている。入出管理徹底と監視カメラ設置を

改善



夜間口での記名が義務付けられ、監視カメラが設置された

その他の改善実績

- 「自転車は左」の前かごプレート
- 土のうステーションの設置
- 小学生への体育館の遊び場開放
- イギリスの絵本教材の所蔵
- 一時保育の土曜日実施と電話申込

みなさんと変えていく!

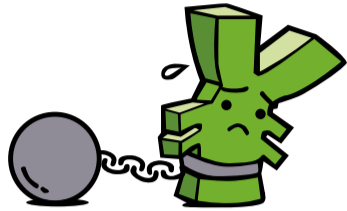
私たちが取り組んでいる戸田市の課題です。みなさんと一緒に考えていきます。



行政改革 税の使い道を効率的に



提案者
酒井 郁朗



ムダ一掃に近道なし!
順次、指摘していく。

たとえばこんな提案

◆国・県からの資金の確保(市営福祉機関の補助金申請を提案。年間1700万円の財源逸失を是正)◆がん検診の効率化(効果のない検査の廃止と、効果のある検査の導入)◆市補助金の効果測定、不正チェック◆放置自転車(撤去1台あたり約2万円)、図書館運営(貸出1冊あたり約580円)等の改善…他

具体的な指摘が大切

しくみづくり(透明化、基準化)だけでは、隠れたムダは減りません。具体的に提案し、少しずつ進めていかないと、ムダは温存され、行政の効率化は止まってしまいます。施設や用地、保有資金等の効率的な利用、国や県からの資金の確保、現在実施している事業の効果検証など、課題は尽きません。

市民参加 若い世代や女性も一緒にまちづくりを



提案者
金野 桃子



あなたの声が
戸田を変えます。

審議会等へ市民参加を原則に

市民の声を政策に反映するためには、計画過程で委員として関与することが有効ですが、委員に市民公募がないことも多く、広く市民の声を聞いたとはいえません。子育て政策をはじめ、すべての分野で市民参加を求め、市民委員のいない子ども子育て会議では土日・託児付きの保護者ヒアリングが開かれました。

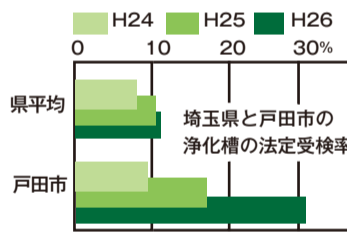
自分の声が届いた実感を

いきなり「市政への参画」といっても難しく、まずは市政に関心を持つことが大切です。私たちが日頃の活動をお伝えし意見を聞くとともに、議会で審議会等への市民参加の道を開きます。次の課題は「自分の声で変わった!」と実感していただくことです。その喜びと責任がまちづくりの原動力です。

生活・環境 下水事業を環境と人に優しく



提案者
中山 祐介



浄化槽の法定受検率は
大幅に改善したが。

通知送付などで受検率向上

環境のため浄化槽の適正な使用が重要です。浄化槽は法定の検査がありますが、平成24年度の受検率は全国平均31%と比較し、県平均8.3%、戸田市9.2%と低いものでした。そこで、市長名での通知の送付や説明会を提案。受検率は大幅に向上し県平均を大きく引き離し、戸田市30.9%となりました。

定期点検の重要性や料金格差

浄化槽は法定検査だけでなく、定期点検こそが重要です。そして最大の障壁が料金です。日本一安い戸田市の下水道料金と併せて考える必要があります。平成37年度までに下水道が100%整備されます。それまで浄化槽の運用は環境的・公衆衛生的に重要であり、下水道と浄化槽を両立した施策が望まれます。

居場所づくり 多世代が集える公共スペース



提案者
真木 大輔



福祉センターを
みんなが使えるように。

畳の部屋を開放

福祉センターの稼働率が30%を下回る一方で、子供や子育て世代からは身近に集える公共の居場所の設置が要望されています。3月議会において、多世代利用に向けた見直しを提言。高齢者の利用に限られていた40畳程の和室が試行的に開放され、ベビーカー置場やおむつ交換台、授乳スペースも用意されました。

理想は「あいはる」

和室は開放されたものの、特に乳幼児を連れた方にとっては、周りの利用者に気を遣ってしまう、気軽に利用できるものとは言えないようです。今年オープンした上戸田の「あいはる」では、多世代交流スペースとは別に、乳幼児向けの部屋が常設されています。福祉センターでも参考にすべきと考えます。

若い世代の政治参加

戸田市は埼玉県でもっとも若いまちです。いま、学生や子育て世代などの若い世代の政治参加が目立っています。

世代間で比較すると、若い世代は、有権者数自体が少ないことに加え投票率が特に低いことから、政治に声が届きにくく、子育てや少子化対策など日本の未来のために必要な政策が後回しにされる傾向があります。

公職選挙法が改正され、選挙権が18歳以上に引き下げられました。今後は地域、学校、行政による社会参加教育の推進と併せ、戸田の会では、こうした若い世代の声も拾い、みなさんの声を市政に届けていきます。



酒井 郁郎

上戸田

さかい いくろう

1975年3月4日生まれ
無所属、2期目、会派代表
【学歴】東京大学医学部健康科学看護学科卒業、同大学院修了(医療政策)
【職歴】マッキンゼー(経営コンサルタント)、(株)ポピンス(保育)勤務、会社経営(医学教育)



真木 大輔

新曽

まき だいすけ

1982年3月7日生まれ
無所属、1期目、会派副代表
【学歴】東京大学教養学部基礎科学科卒業、同大学院(駒場素粒子論)中退
【職歴】講師業(予備校講師)

市民が最優先。

1. 「市民が最優先」しがらみのない立場で、“既得権を持った一部の 人”ではなく、“市民”の意思を反映してまいります。
2. 「税金のムダ一掃」行政運営の効率化に近道はありません。コストを分析し、具体的なムダを順次、指摘していきます。
3. 「議員特権の廃止」議員特有の手当や有利な制度を廃止し、支出の削減をはかります。

教育が人をつくる。

政治家となつたいまでも、その考えは変わりません。教育をはじめ、子育て、まちづくり、公共交通、安全対策などについて今後戸田市が進むべき正しい方向性をしっかりと掴み、市民のみなさんとともに学び、そして未来への思いを託すことのできる議員として、これからも誠実に活動し続けたいと考えています。



金野 桃子

新曽 地区

こんの ももこ

1983年3月2日生まれ
無所属、1期目、会派副代表
【学歴】慶應義塾大学文学部卒業、同大学院法務研究科修了
【職歴】内閣府非常勤職員、国会議員公設秘書



中山 祐介

喜沢

なかやま ゆうすけ

1985年11月9日生まれ
無所属、1期目、会派副代表
【学歴】法政大学地理学科卒業、都立大学大学院修了(理学修士)
【職歴】(株)建設技術研究所を退職後、土地家屋調査士・行政書士・測量士事務所を代表

世の中の役に立ちたい!

「世の中の役に立ちたい」一幼い頃からの私の夢です。内閣府では被災者支援に、国政では社会保障政策に取り組みました。そこで学んだことは「人は街によって育てられ、やがて自分たちが街をつくっていく」ということ。いまだ試行錯誤の日々ですが、皆さんの応援を力に変えて、“自分が育った街、戸田”のために一生懸命頑張ります!

ひたむきに働きます!

戸田は荒川や笹目川をはじめとした河川、彩湖や道満グリーンパーク、ポートコースなどの施設に恵まれた「水のまち」です。全国のお手本となるような環境として、まちづくりをすすめ、自然を脅威としないためのインフラ整備や防災対策の徹底により、もしもの時でも安心・安全なまちにしていきたいです。

戸田の会について

「戸田の会」という会派名には、戸田のために働くという意味が込められています。旧来の対立構造にとらわれず、これからの戸田のために何をすべきかを第一に考えて行動し、その取り組みがやがて日本の将来につながるよう、力をあわせて頑張っています。

【会派理念】

一、必要な政策を実現するために

- 時代の流れを読み、未来を見据えた政策を立案します。
- 政策の妥当性について、費用対効果、先行事例、市民の支持などの観点から十分に検討します。
- 政策実現のために、議会内外での提言や交渉など可能な限りの手段を尽くします。

一、皆さんの声を市政に反映するために

- 市政について広くお伝えし、市民の皆さんへの情報提供に努めます。
- 市民の皆さんからのご意見を広くお聞きし、市政への問題意識の共有に努めます。
- いただいたご意見を政策に集約し、目に見える改善に努めます。

一、公平な市政を実現するために

- 特定の人物や団体への利益誘導ではなく、市民全体の利益のために行動します。
- 既得権益を打破し、行政の効率化と民間の活性化を促します。

ご意見募集中

戸田市政について、戸田の会の活動についてなど、みなさんのご意見をお寄せください。



ご意見受付

会派会議で 議論

対応 (進捗を公開)

市政に反映

みなさんからいただいたご意見のすべてを、会派会議で議題として取り扱っています。対応の進捗状況は会派ホームページで確認いただけます。

ご意見送付先

- 1 ホームページのフォームから：
<http://todanokai.com/>
- 2 電子メール：info@todanokai.com
- 3 電話/FAX：048(234)8435(真木)
- 4 郵便：戸田市喜沢2-19-10-202(中山)

発行者：戸田の会